



# 私のいちおし本 「猫の文学館」

和田 博文 編



## 選者：肝付町立国見小学校 司書 漆間 智美

大佛次郎や梶井基次郎、太宰治に村上春樹、向田邦子といった日本を代表する作家たちが、猫からインスピレーションを得て綴った、猫にまつわる作品を集めたアンソロジーです。

次々家に引っ越してきては増え続ける猫、歌舞伎座に住み込む猫、明けても暮れても野良猫とのデートに余念のない猫、風呂敷に包まれて川に流される猫、日だまりに体を丸めて眠る猫…。気まぐれで自由奔放だけど憎めない、そんな猫たちに振り回されたり癒されたり、猫好きにはたまらない1冊です。

## 今月の新刊

### 【銀河アリーナ図書室】

{一般}

#### 9月1日 母からのバトン 樹木希林・内田也哉子 著

9月1日は大勢の子どもが自殺してしまう日。そうつぶやいた母・樹木希林は何を伝えたかったのか？母が遺した言葉を受けて、内田也哉子が「不登校」や「命」について考える。様々な人との対話から紡ぎだした言葉をまとめる。



### 【文化センター図書室】

{一般}

#### ボブが教えてくれたこと ジェームズ・ボーエン 著

僕は人生の中で何度も間違った選択をしてきた。けれど、ボブと名付けた茶トラの猫を受け入れる選択だけは間違っていなかった。ボブと一緒にいることで幾度となく目を見開かされる思いがしたし、前向きに考えることもできた。これまでの10年ちょっとの間、ボブは僕にとってまさしく師であり続けてくれた。本物の友情、自由な心、自分を知ること…。ホームレスの少年が一匹の野良猫から学んだ幸福に生きるための知恵。



{児童}

#### 字のないはがき

向田 邦子 原作

戦争中、疎開するちいさな妹に、お父さんは「元気な日は、おおきな〇を書いてポストにいれなさい」と言って、たくさんのはがきを渡した…。妹と父のエピソードを綴った向田邦子の名エッセイを角田光代と西加奈子が絵本化。



{児童}

#### おつきさまひとつづつ

長野 ヒデ子 作

月が出ています。あこちゃん、おかあさんと一緒に帰ります。「おかあさん、アフリカにもおつきさまある?」「あるわよ」あこちゃんはほっとしました。おつきさまがみーんなにひとつづつあって、よかったね。お月さまが優しく見守る中、親子の会話と想像が広がっていく、心温まるおはなし絵本です。



### その他の新刊

{一般} のっけから失礼します 三浦 しをん 著

罪と祈り 貫井 徳郎 著

{児童} おしりたんてい ラッキーキャット

はだれのに！ トロル さく・え

ありさんありさんどこいくの？

大橋 ツヨシ 著

### その他の新刊

{一般} 蒼色の大地 薬丸 岳 著

時間の花束 三浦 百恵 著

{児童} 10かいだてのおひめさまのおしろ

のはな はるか 著

おやさいしろくま 柴田 ケイコ 作